## A picture containing sky, outdoor, sunset, silhouette  Description automatically generatedText  Description automatically generated with medium confidence



**2022年9月からの改訂版（V2）**

**責任銀行原則**

**報告・自己評価 テンプレート**

**テンプレート**

報告・自己評価テンプレート

以下のテンプレートは、「責任銀行原則（PRB）」の署名機関に求められる報告及び自己評価の要件を定めています。署名銀行は、6原則のそれぞれについて進捗状況を自己評価することにより、PRBを実施するためにどのような行動をとったかを開示します。そのため、このテンプレートは、署名銀行がコミットした6原則に沿った構成になっています。

3つの[主要なステップ](https://www.unepfi.org/wordpress/wp-content/uploads/2019/07/Key-Steps-to-be-Implemented-by-Signatories.pdf)とは、「インパクト分析」、「目標設定と実行」、「報告・説明責任の確保」であり、PRBの署名銀行として約束を果たしていることを示すために重要です。報告・自己評価テンプレートの3つの重要なステップに関連するセクションには、銀行が重要なステップのそれぞれの要件をどの程度満たしているかを示す自己評価サマリーが必要です。

異なる出発点への対応

PRBの署名銀行にとって、署名後4年間は、6原則を実施し報告を要求事項に完全に一致させるための準備期間です。初回の報告では、本テンプレートで要求されるすべての情報を提供できないかもしれません。そこで、毎年、実施の進捗を確認する必要があります。 フィードバック、サポート、キャパシティビルディング、トレーニング、ピアラー ニングなどが、すべての署名銀行が、実施と報告の両方を進めるために提供されるサービスです。

報告及び保証のためのタイムライン

署名銀行は、原則の実施状況を年次で報告する必要があります。PRB報告は、初回は署名後18ヶ月以内に公表することになっていますが、これは、PRB報告を銀行の年次報告サイクルに合わせるという柔軟性を持たせるためです。したがって、原則に署名してから18ヶ月より早い時点で報告をすることも可能です。初回のPRB報告を経て、その後の報告は毎年、すなわち前回の報告から遅くとも12ヶ月以内に公表されなければなりません（[[1]](#footnote-2) ）。



保証

署名後4年の実施期間内にはPRB報告の保証が必要になります。これは（初回の報告時期によっては）3回目のPRB報告の段階で保証が必要になる場合があることを意味します。銀行は予め保証プロセスを導入し、前もって保証を含めた報告を行うことが推奨されます。

3つの[キーステップ](https://www.unepfi.org/wordpress/wp-content/uploads/2019/07/Key-Steps-to-be-Implemented-by-Signatories.pdf)（黄色でハイライト）に関連するすべての項目は、PRB署名の4年目までに、その分野の専門知識を持つ独立した第三者による限定的保証を必要とします。それらは以下の通りです。

* 2.1 インパクト分析
* 2.2 目標設定
* 2.3 目標の実行とモニタリング
* 5.1 原則を実施するためのガバナンス体制

保証提供機関は、上記に列挙された分野における自己評価に対して限定的な保証を提供します。これは、既存の保証付き報告書に含めることによっても行うことができます。また、第三者による保証が不可能な場合は、独立したレビューによっても対応可能です。保証の要件は、「[保証提供機関のためのガイダンス](https://www.unepfi.org/wordpress/wp-content/uploads/2021/05/PRB-Guidance-for-Assurance-Providers-D3.pdf)」で詳しく説明されています。

テンプレートの目的

このテンプレートの目的は、署名機関がPRB実施に関する進捗状況を開示するのを支援することです。開示された情報は、UNEP FI事務局が各銀行の進捗状況を個別に確認するため、またPRB署名グループの進捗状況をまとめて報告するための基礎として使用されます。一貫した方法で全体の進捗を測定するために、標準的な質問がテンプレートに統合され、銀行が記入する形式を取ります。また、銀行が事業を展開するビジネスモデルの多様性や状況の違いを考慮し、自由な質問により、各行の進捗状況を柔軟に開示することができます。

**本テンプレートの使用方法**

このテンプレートは、各原則の実施における年次進捗の概要を提供する機会を銀行に与えるものです。 署名銀行の回答を裏付けるために、既存の報告書や公表場所（ウェブサイトなど）のどこに必要な情報があるか、参考資料やリンクを提供するように設計されています。原則6に定める透明性と説明責任を確保しつつ、追加的な報告負担を最小限に抑えることを目的としています。他の文書を参照する場合は、正確な情報が掲載されているページを明記してください。

報告・自己評価テンプレートを構造的及び内容的に修正することはできません。テンプレートの内容及び文章は、文章の一部を省略することはぜずに各銀行の報告様式に適用し、適宜デザインすることができます。報告・自己評価テンプレートは、銀行の報告書（年次報告書、サステナビリティレポートまたは関連する報告洋式）に統合することも、独立した文書として公表することも可能です。ただし公表する必要があり、PRB署名銀行のページに掲載されます。

PRB報告は英語で公表される必要があります。報告及び自己評価テンプレート内で参照される情報も、英語で入手できるようにする必要があります。それが不可能な場合は、UNEP FI事務局が銀行のパフォーマンスを審査する際に必要なすべての情報を考慮できるよう、関連情報の要約をテンプレートに文章として含めることが推奨されます。

|  |
| --- |
| 原則1: 整合性（アライメント） |
| Icon  Description automatically generated事業戦略を、持続可能な開発目標(SDGs)やパリ協定及び各国・地域の枠組で表明されているような個々人のニーズ及び社会の目標と整合させ、貢献できるようにする。 |
| ビジネスモデル銀行ビジネスについて、事業を展開している主要地域の主な顧客セグメント、提供する商品・サービス、融資先のセク ターやプロジェクト、場合によっては技術などの概要を説明してください。例えば、地域、セグメント（バランスシート及び／またはオフバランスシート別）、またはサービスを提供する顧客数及び取引先数の観点から、銀行ポートフォリオの分布（％）を開示することによって情報を定量化してください。 |
| 回答 | リンクと参考文献 |
| 戦略アライメント**銀行の経営戦略において、サステナビリティは戦略的な優先事項として位置づけられ、反映されていますか？** [ ] はい[ ] No「持続可能な開発目標(SDGs)」や「パリ協定」さらに国内 及び地域の枠組みに照らして、銀行の戦略がどのように社会の目標と合致しそれらに貢献しているか、または貢献する予定であるかについて説明してください。 **戦略的優先事項またはこれらを実施するための方針において、以下の枠組みまたはサステナビリティに関する規制当局の報告要件についても言及していますか？**[ ]  国連「ビジネスと人権に関する指導原則」（UN Guiding Principles on Business and Human Rights）[ ]  国際労働機関基本条約（International Labour Organization fundamental conventions）[ ]  国連グローバル・コンパクト[ ]  先住民族の権利に関する国連宣言（UN Declaration on the Rights of Indigenous Peoples）[ ]  環境リスクアセスメント（気候変動リスクなど）について、適用される規制当局の報告要件がある場合 - どのようなものかを明記してください： \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_[ ]  社会的リスク評価に関して適用される規制当局の報告義務（例：現代奴隷制度） - どのようなものがあるか具体的に記載してください：\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_ [ ]  該当するものはありません |
| 回答 | リンク及び参照 |

|  |
| --- |
| 原則2：インパクトと目標設定 |
| Icon  Description automatically generated人々や環境に対して、我々の事業及び提供する商品・サービスがもたらすリスクを管理しネガティブ・インパクト(悪影響)を低減する一方で、継続的にポジティブ・インパク ト(好影響)を増加させる。そのために、重大なインパクトを与える可能性のある分野に関して目標を設定してそれを公表する。 |
| * 1. インパクト分析（キーステップ1）

銀行が、最も重大なインパクトエリアを特定し、目標設定のための優先分野を決定するために、ポートフォリオのインパクト分析を行ったことを示してください。インパクト分析は定期的に更新され[[2]](#footnote-3) 、以下の要件／要素（a-d）を満たしている必要があります[[3]](#footnote-4) 。 1. ***分析対象*：**インパクト分析の範囲はどのようなものか。（1.1で述べたように）主要な事業分野、商品／サービスのうち、インパクト分析で考慮された範囲を明記する。また、対象外についても記載し、その理由についても言及する。
 |
| 回答 | リンク及び参照 |
| 1. ***ポートフォリオの構成：***分析においてポートフォリオの構成を考慮したかどうか（単位：％）。グローバル及び地域ごとのポートフォリオの構成比を示す。

i) ビジネス、コーポレート及びインベストメント・バンキングのポートフォリオについて、セクター及び産業別[[4]](#footnote-5) (セクター・エクスポージャーまたは産業別の内訳（%）) ii) 消費者金融及びリテール・バンキングのポートフォリオについて、商品・サービス別及び顧客のタイプ別の集計 エクスポージャーの規模を把握するために別のアプローチをとっている場合、産業またはセクターの観点から銀行の中核事業や主要事業がどこに位置しているかについてどのように考慮したかを記述する。 |
| 回答 | リンク及び参照 |

|  |
| --- |
| 1. ***背景*:**銀行及び/または顧客が事業を行っている主な国/地域における持続可能な開発に関する主要な課題と優先事項は何か[[5]](#footnote-6)。インパクト分析における当該要素に有用な情報として、どのようなステークホルダーを関与させたかを含め、それらがどのように考慮されたかを記述する。

*このステップの目的は、銀行のポートフォリオのインパクトを、社会のニーズという文脈で考えることにある。* |
| 回答 | リンク及び参照 |
| インパクト分析の最初の3つの要素に基づきどのようなポジティブ及びネガティブなインパクトエリアを特定したか。目標設定戦略（2.2参照）[[6]](#footnote-7) を追求するために、どの（少なくとも2つの）重大なインパクトエリアに優先順位をつけたかを開示。 |
| 回答 | リンク及び参照 |
| 1. *これら（最低2つの優先的インパクトエリア）に関する****パフォーマンス測定***：どのセクターや産業、また融資及び投資先の顧客のタイプが、実際のポジティブまたはネガティブのインパクトを最も強く引き起こしているかを特定したか。自行の状況に当てはまる重要なインパクトエリアに関連する適切な指標を用いて、これらのパフォーマンスをどのように評価したかについて説明する。

最も大きなインパクトを与える分野のうち、目標設定のたの優先分野を決定する際には、銀行の現在のパフォーマンスレベル、すなわち、銀行の事業活動や商品・サービスの提供から生じる社会・経済・環境へのインパクトを、定性・定量指標や代理指標を用いて考慮する必要がある。気候変動及び/または金融の健全性と包摂を最も重要なインパクトエリアとして特定した場合、別紙の該当する指標も参照のこと。 銀行の事業活動や商品・サービスの提供から生じるインパクトの強さを評価するために、別のアプローチをとっている場合は、その内容を記述する。 *このステップの結果は、最も大きなインパクトを与える2つの分野の目標設定に使用できるベースライン（指標を含む）にもなります。* |
| 回答 | リンク及び参考先 |

|  |
| --- |
| **自己評価の要約****最も重大な（潜在的な）プラス及びマイナスのインパクトを持つ分野を特定するために、次のどのインパクト分析の要素を完了しましたか。[[7]](#footnote-8)**分析対象 [ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえ ポートフォリオの構成 [ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえ背景　　　　　 [ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえパフォーマンス測定 　　　　　 [ ] はい [ ] 進行中　　　　 [ ] いいえ **インパクト分析の結果、銀行にとって最も重要なインパクトエリアはどれですか 。***気候変動緩和、気候変動適応、資源効率と循環型経済、生物多様性、金融の健全性と包摂、人権、ジェンダー平等、質の高い雇用、水、汚染、その他：具体的にお書きください。***インパクト分析に使用され開示されたデータは、どの程度新しいものですか。**[ ] 6ヶ月前[ ] 12ヶ月前 [ ] 18ヶ月前 [ ] 18ヶ月以上経過潜在的な課題、上記でカバーされていない点などを記述するための記述箇所*（任意）*： |

|  |
| --- |
| 1. 目標設定（キーステップ2）

インパクト分析で特定した最も大きなインパクトのある少なくとも2つの分野に対応する、最低2つの目標を設定し、公表していることを示してください。目標は、具体的(Specific), 測定可能(Measurable)(定性的あるいは定量的)、達成可(Achievable)、 関連性のある(Relevant)、そして期限付き(Time-bound)、すなわち SMARTである必要があります。目標設定に関する以下の要素(a-d)を、各目標ごとに個別に開示してください。1. ***整合性：***銀行ポートフォリオと整合させるために、どのような国際的、地域的または国家的な政策枠組[[8]](#footnote-9) が関連性が高いと判断したか。選択した指標や目標が、適切な持続可能な開発目標、パリ協定の目標、その他の関連する国際的、国別、地域別の枠組みにリンクし、それらが整合性を高め、より大きな貢献をすることを示す。

*2.1の背景をベースに構築することができる。*  |
| 回答 | リンク及び参考先 |
| ***ベースライン：***選択した指標のベースラインを決定し、現在の整合性のレベルを評価したか。使用した指標と、ベースラインの年度を開示する。*2.1で実施したパフォーマンス測定をもとに、目標のベースラインを決定することができる。**気候変動の緩和や金融の健全性と包摂のための指標パッケージが開発され、銀行が目標を設定し、実施する際のガイドとサポートとなっている。指標の概要は、本テンプレートの付属文書に記載。* 気候変動緩和や金融の健全性・包摂性を、最も 重要なインパクトエリアとして優先している銀行 は、インパクトエリア、全ての関連指標、対応する指標コードを含む以下のような概要表を用いて、 付属書に示されているような指標について報告することが強く推奨される。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| インパクトエリア | 指標コード | 回答  |
| 気候変動の緩和 | ... |  |
| ... |  |
| ... |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| インパクト範囲 | 指標コード | 回答  |
| 金融の健全性と包括性 | ... |  |
| ... |  |
| ... |  |

ベースラインを決定し、インパクト重視の目標に向けた整合性のレベルを評価するために、関連する他の、あるいは追加の指標を特定した場合、それらを開示してください。 |
| 回答 | リンク及び参照 |

|  |
| --- |
| 1. ***SMART目標*** (重要業績評価指標(KPI)を含む)[[9]](#footnote-10) ：最も大きなインパクトを与える第一の領域と第二の領域について、すでに実施されている場合は、その目標を開示する（さらにインパクトを与える領域がある場合は、その目標も）。目標達成に向けた進捗をモニターするために、どのようなKPIを使用しているか開示する。
 |
| 回答 | リンク及び参照先 |
| 1. ***アクションプラン：***設定した目標を達成するために、マイルストーンを含め、どのようなアクションを定義したかを記述する*。*

また銀行が設定した目標がインパクトエリア内または他のインパクトエリアに及ぼす重大な（潜在的な）間接的インパクトを分析・認識し、潜在的な負のインパクトを回避、緩和、または補償するための適切な措置を定めていることも示す。 |
| 回答 | リンク及び参照先 |

|  |
| --- |
| 自己評価の要約PRBの要件に沿った目標設定について以下のどの要素を完了しましたか、あるいは現在進行中ですか。 |
|  | ... 最も大きなインパクトを与える第一の領域： ...*（名称を記載）。* | ... 最も大きなインパクトを与える第二の領域： ... *（名称を記載）* | *(より多くのインパクトエリアで目標を設定している場合）..*.第三（及びそれ以降）のインパクトエリア：...*（名称を記載）* |
| 整合性  | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ |
| ベースライン  | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ |
| SMART目標 | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ |
| アクションプラン | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ | [ ] はい[ ] 進行中[ ] いいえ |

|  |
| --- |
| 1. 目標の実行とモニタリング（キーステップ2）

**各目標ごとに**設定した目標を達成するために、事前に定義したアクションを実行したことを示す。 2.2で設定した進捗状況を把握するための指標やKPIを用いて、設定した各目標の達成に向けた前回のレポート以降の進捗状況と、進捗の結果もたらされたインパクトについて報告する。***または、計画を変更する場合（第二回目以降の報告にのみ該当）：***潜在的な変更（優先インパクトエリアの変更、指標の変更、目標の加速／見直し、新しいマイルストーンの導入、行動計画の修正）を説明し、なぜその変更が必要になったかを説明すること。 |
| 回答 | リンク及び参照 |

|  |
| --- |
| 原則3：顧客（法人及びリテール） |
| **Icon  Description automatically generated**顧客と協力して、サステナブルな慣行を奨励し、現在と将来の世代に共通の繁栄をもたらす経済活動を可能にする。 |
| 3.1 顧客エンゲージメント*持続可能な活動を奨励するための方針または顧客とのエンゲージメントプロセスを実施しているか。 [[10]](#footnote-11)*[ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえ*（潜在的な影響も含め）最も大きなネガティブインパクトを特定したセクターに対する方針を持っているか。* [ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえ持続可能な慣行を奨励し、持続可能な経済活動を可能にするために、法人及びリテール顧客とどのように協力したか、及び／または協力する予定であるかを記述する[[11]](#footnote-12) 。これには、関連する方針、顧客のトランジションを支援するために計画あるいは実際の行動、顧客エンゲージメントにおいて選択した指標、及び可能な場合には達成されたインパクトに関する情報が含まれていなければならない。*これは、銀行が実施するインパクト分析、目標設定、行動計画（P2参照）にもとづき、それに沿ったものである必要がある。* |
| 回答 | リンク及び参照 |
| 1. ビジネス機会

ポジティブインパクトの増加及びネガティブインパクトの減少に関連してどのような戦略的事業機会を見出したか、及び／または、報告期間中にどのようにそれらに取り組んだかについて説明する。既存の商品やサービスに関する情報、すなわち金額（米ドルまたは現地通貨）及び／またはポートフォリオに占める割合で、開発した持続可能な商品に関する情報を、どのSDGsまたはインパクトエリアにポジティブインパクトを与えるよう努力しているか（例：グリーンモーゲージ-気候、ソーシャルボンド-金融包摂など）についての情報を提供すること。 |
| 回答 | リンク及び参照 |

|  |
| --- |
| 原則4: ステークホルダー |
| 社会の目標達成のために、関連のあるステークホルダーと積極的かつ責任をもって協議、関与し、連携します。 |
| 4.1 ステークホルダーの特定と協議*インパクト分析及び目標設定プロセスにおいて、関連のあるステークホルダー（またはステークホルダー・グループ[[12]](#footnote-13) ）を特定し、定期的に協議、関与、協力、連携するプロセスを持っているか。* [ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえ原則を実施し、銀行が及ぼすインパクトを改善する目的で、銀行がどのステークホルダー（あるいはグループ/タイプ）を特定し、協議し、関与し、協力し、または提携したかについて記述する。銀行がどのようにステークホルダーを特定し、どのような問題に取り組み、どのような成果を得たか、そしてそれらがどのように行動計画プロセスに反映されたかについての概略を含める必要がある。 |
| 回答 | リンク及び参照 |

|  |
| --- |
| 原則5：ガバナンスと企業文化 |
| **Icon  Description automatically generated with low confidence**効果的なガバナンスと責任ある銀行業の文化を通じて、これらの原則へのコミットメントを実行します。 |
| 1. 原則を実施するためのガバナンス体制

PRBを組み込んだガバナンスシステムを構築しているか。 [ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえ著しいポジティブ及びネガティブインパクト（潜在的な影響も含め）を管理し、原則の効果的な実施を支援するために、既に整備されている／整備予定のガバナンス構造、方針及び手続きについて説明する。これには以下に関する情報が含まれる。 * サステナビリティ戦略、目標の承認及びモニタリングに責任を持つ委員会（PRBに関する最高レベルのガバナンスについての情報を含む）。
* 委員会の委員長、取締役会がPRB実施状況を監督するためのプロセス及び頻度（目標またはマイルストーンが達成されない場合、あるいは予期せぬネガティブインパクトが検出された場合の是正措置を含む）に関する詳細、ならびに
* サステナビリティの目標と連動した報酬の慣行
 |
| 回答 | リンク及び参照先 |
| 1. 責任ある銀行業の文化を促進

従業員に責任ある銀行業の文化を醸成するための取り組みや施策（能力開発、eラーニング、顧客対応業務のためのサステナビリティ研修、報酬体系への組み込み、業績管理、リーダーシップコミュニケーションなど）を記述する。  |
| 回答 | リンク及び参照先 |
| 1. 方針とデューデリジェンス・プロセス

ポートフォリオ内の環境・社会リスクに対処するための方針を定めているか[[13]](#footnote-14)記述する。ポートフォリオに関連する環境・社会リスクを特定し管理するために、銀行においてどのようなデューデリジェンスプロセスを導入しているか説明する。これには、重要/顕著なリスクの特定、環境・社会リスクの軽減と行動計画の定義、リスクに関する監視と報告、既存の苦情処理メカニズム、さらにこれらのリスクを監督するためのガバナンス構造などの側面が含まれる。 |
| 回答 | リンク及び参照先 |

|  |
| --- |
| 自己評価の要約CEOや他の経営幹部は、銀行のガバナンスシステムを通じて、原則の実施について定期的に監督していますか？[ ] はい [ ] いいえガバナンスシステムには、PRBの実施を監督する仕組み（インパクト分析や目標設定、目標達成のための活動、目標やマイルストーンが達成されない場合や予期せぬネガティブインパクトが検出された場合の是正措置のプロセスなど）が含まれていますか？[ ] はい [ ] いいえ従業員のサステナビリティ文化を促進するための施策を実施していますか（5.2項で記述）？ [ ] はい [ ] 進行中 [ ] いいえ |

|  |
| --- |
| 原則6：透明性と説明責任 |
| **Icon  Description automatically generated**これらの原則の個別及び全体的な実施状況を定期的に見直し、ポジティブ及びネガティブなインパクトと社会の目標への貢献について、透明性を保ち、説明責任を果たす。 |
| 1. 保証

PRBコミットメントに関するこの公開情報は、独立した機関によって保証されているか。[ ]  はい [ ] 部分的に [ ] いいえ該当する場合は、保証に関するステートメントのリンクまたは説明を含めること。 |
| 回答 | リンク及び参照 |
| 1. 他の報告枠組みに関して

以下の基準や枠組みでサステナビリティ情報を開示しているか。[ ]  GRI[ ]  SASB[ ]  CDP [ ]  IFRSサステナビリティ開示基準（公表予定）[ ]  TCFD[ ]  その他： .... |
| 回答 | リンク及び参照 |
| 1. 展望

今後12ヶ月間の報告期間中に、実施する次のステップは何か（特にインパクト分析[[14]](#footnote-15) 、目標設定[[15]](#footnote-16) 、PRB実施のためのガバナンス構造など）について簡潔に記載する。 |
| 回答 | リンク及び参照 |

|  |
| --- |
| 1. 課題

ここでは、責任銀行原則の実施に関して、銀行が直面している可能性のある課題について、簡単に紹介します。PRB署名銀行の全体的な進捗状況を把握する上で皆様からのフィードバックは有用です。 責任銀行原則を実行する際に、優先的に取り組むべき課題は何ですか？貴行が過去12ヶ月間に優先的に取り組んだ課題の上位3つを選んでください（任意質問）。必要であれば、課題とその取り組みについて詳しく説明することもできます。 |
| [ ] PRB 監督をガバナンスに組み入れる [ ] 銀行内でのモメンタム獲得または維持[ ] 何から始め、何に重点を置くか[ ] インパクト分析の実施[ ] 環境及び社会的なネガティブインパクトの評価[ ] 適切なパフォーマンス測定手法の選択[ ] 目標の設定[ ] その他： ... | [ ] 顧客エンゲージメント[ ] ステークホルダー・エンゲージメント[ ] データの有無[ ] データの質[ ] リソースへのアクセス[ ] 報告[ ] 保証[ ] 行内での行動の優先順位付け |
| 必要であれば、課題とその取り組みについて詳しく説明することもできます。 |

1. 早期報告は可能であるが、1年ごとの進捗を示すのに十分な時間を考慮する必要がある。 [↑](#footnote-ref-2)
2. インパクト分析が過去の期間に実施された場合は、適宜、情報を更新、分析対象を拡大し、インパクト分析の質を経時的に向上させる必要があります。 [↑](#footnote-ref-3)
3. ガイダンスは、[インパクト分析と目標設定に関するインタラクティブ・ガイダンスに](https://www.unepfi.org/wordpress/wp-content/uploads/2022/05/Impact-and-Target-Process-V-1.1-09.05.2022.pdf)掲載されています。 [↑](#footnote-ref-4)
4. 異なるインパクトエリアに関連する「主要セクター」、すなわち、ポジティブ及びネガティブインパクトが特に強いセクターは、ここで特に関連性が高くなります。 [↑](#footnote-ref-5)
5. 高度に分散された国際的なポートフォリオを持つ銀行ではグローバルな優先順位が代わりに考慮されるかもしれません。 [↑](#footnote-ref-6)
6. 最も大きなインパクトを与える地域の優先順位を決めるには、a)、b)、c)で述べた定量分析に定性分析を重ねることが重要であり、例えば、ステークホルダーの関与やローカルな事情のさらなる整理が必要となります。 [↑](#footnote-ref-7)
7. 質問に対して「はい」と答えることができるのは、例えば、最初のインパクト分析が実施された、あるいはパイロットプロジェクを実施したなど、上記に示されたステップの1つが完了している場合です。 [↑](#footnote-ref-8)
8. 銀行は、目標設定のために、主要な事業を展開する国／地域における持続可能な開発の観点からの主な課題と優先事項を検討する必要があります。これらは、国家開発計画や戦略、SDGsやパリ気候協定のような国際目標、地域のフレームワークなどが該当します。整合させるとは、銀行の目標とこれらの枠組みや優先事項との間に明確な関連性があり、その目標が国内及びグローバル目標に貢献することにどのように支援し、推進しているかを示すことです。 [↑](#footnote-ref-9)
9. 重要業績評価指標は、目標に対する進捗状況をモニターする目的で、銀行が選択した指標です。 [↑](#footnote-ref-10)
10. 顧客エンゲージメントプロセスとは、様々な顧客リレーションシップチャネルを通じて戦略的に伴走し、サステナビリティ目標に沿ったビジネスモデルへの移行を支援するプロセスです。 [↑](#footnote-ref-11)
11. 持続可能な経済活動は、低炭素で資源効率の高い持続可能な経済への移行を促進します。 [↑](#footnote-ref-12)
12. 規制当局、投資家、政府、サプライヤー、顧客、学界、市民社会組織、コミュニティ、先住民の代表、NPOなど。 [↑](#footnote-ref-13)
13. 適格な方針の例としては、特定のセクター/活動に対する排除方針、森林破壊ゼロ方針、ゼロトレランス方針、ジェンダー関連方針、ソーシャルデューディリジェンス方針、ステークホルダーエンゲージメント方針、内部告発方針など、または社会リスクに関連する適用可能な国内ガイドラインが挙げられます。 [↑](#footnote-ref-14)
14. 例えば、まだカバーしていない分野を含めることで対象範囲を拡大する計画や、ポートフォリオの構成、背景、パフォーマンス測定の観点から予定されるステップの概要を説明します。 [↑](#footnote-ref-15)
15. 例えば、ベースライン測定の計画概要、（より）インパクトのある分野の目標設定、中間目標の設定、行動計画の策定などが該当します。 [↑](#footnote-ref-16)